

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【公開番号】特開 2018-19790 (P2018-19790A)
 【公開日】平成 30 年 2 月 8 日 (2018.2.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-005
 【出願番号】特願 2016-151547 (P2016-151547)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 7 月 29 日 (2019.7.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技の進行の制御を行う主制御手段からのコマンドに基づいて演出の進行を制御する演出制御手段を備える遊技機であって、

前記演出制御手段は、

遊技演出に関するデータが予め記憶される R O M を搭載する R O M 搭載基板と、

前記 R O M 搭載基板の前記データから映像信号を作成する映像作成基板と、

表示装置に入力されるべき映像信号の方式と適合する信号を前記表示装置へ出力することのできる映像出力基板と、

を少なくとも含み、

前記演出制御手段は、開放するためには封印部を破壊しなくてはならない基板ボックスに収容され、

前記映像作成基板は、前記 R O M 搭載基板から読み出した前記データを用いて前記映像信号を作成すると共に、前記映像信号を複数種類の方式で前記映像出力基板へ出力し、

前記映像出力基板は前記表示装置に入力されるべき映像信号の方式と適合する信号のみを前記表示装置へ出力すること

を特徴とした遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 2】

従来より、図柄、各種背景画像、文字、キャラクタなどの画像データが記憶される R O M、種々の画像を表示する表示装置を制御する C P U 等が実装される演出制御手段等を備える遊技機が提案されている（例えば、特許文献 1）。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

【特許文献 1】 特開 2 0 1 6 - 1 1 6 6 6 7 号公報 (図 2)

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

ところで、表示装置に入力される映像信号の方式には複数種類のものがある。このため、特許文献 1 に記載される遊技機においては、表示装置に入力される映像信号に合わせて演出制御基板を改変して製造する必要がある、演出制御基板のコストを抑制することが困難であった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、演出制御手段のコストを抑制することができる遊技機を提供することにある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

(解決手段 1)

遊技の進行の制御を行う主制御手段からのコマンドに基づいて演出の進行を制御する演出制御手段を備える遊技機であって、前記演出制御手段は、遊技演出に関するデータが予め記憶される R O M を搭載する R O M 搭載基板と、前記 R O M 搭載基板の前記データから映像信号を作成する映像作成基板と、表示装置に入力されるべき映像信号の方式と適合する信号を前記表示装置へ出力することができる映像出力基板と、を少なくとも含み、前記演出制御手段は、開放するためには封印部を破壊しなくてはならない基板ボックスに収容され、前記映像作成基板は、前記 R O M 搭載基板から読み出した前記データを用いて前記映像信号を作成すると共に、前記映像信号を複数種類の方式で前記映像出力基板へ出力し、前記映像出力基板は前記表示装置に入力されるべき映像信号の方式と適合する信号のみを前記表示装置へ出力することを特徴とした遊技機。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 6
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 1 6】

本発明の遊技機においては、演出制御手段のコストを抑制することができる。